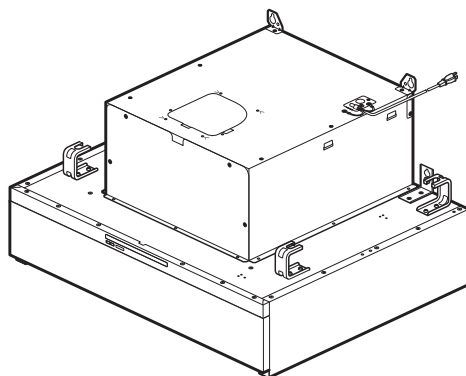


交流100V専用

店舗専用

電気調理機器専用  
調理油煙回収ユニット  
クッキングオイルコレクター

# 取付説明書



## も く じ

安全上のご注意.....	2～3	2. 別売品の確認.....	11
取り付け上のお願い.....	4	3. 排気用部品の準備.....	11
取り付け前の調査と準備.....	5～7	4. フードの取り付け.....	12～15
各部のなまえ.....	8	5. 排気ダクトとの接続.....	16
製品寸法図.....	9	6. 電気配線.....	17
付属品・別売品.....	10	7. 取扱説明書およびオイルガード 固定テープの取りはずし.....	17
取り付けかた.....	11～19	8. 試運転.....	18
1. 付属品の確認.....	11	9. 店舗管理者様への説明.....	19

## ⚠ 警告

使用者、管理者が変わった場合には必ず取扱説明書を読ませ、指導をおこなってください。  
取扱説明書を読まずに操作やお手入れなどをおこなうと、けがや事故の原因になります。

施工管理会社・工事店様へ：

この取付説明書は取り付け後、  
店舗管理者様へ必ずお渡し  
ください。

取り付け前に「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、  
正しく取り付けをおこなってください。

4103 1081



\* 4 1 0 3 1 0 8 1 \*

# 安全上のご注意

- 取り付けの前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けをおこなってください。
- ここに示した注意事項は、製品を安全に正しく取り付け、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。また注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」「注意」の2つに区別しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

 **警告** : 人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容。

 **注意** : 人が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容。

お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

## 絵表示の例



○ 記号は行為を禁止する内容を告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



● 記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください）が描かれています。

## 警告



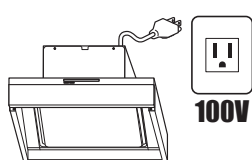
分解・修理・  
改造禁止

- 修理技術者以外の人は、絶対に分解したり修理・改造をしないこと  
発火・感電したり、異常動作してけがをするおそれがあります



使用禁止

- 交流 100 V 以外では使用しないこと  
火災・感電の原因になります



埋込禁止

- クッキングオイルコレクターの壁への埋め込みはしないこと  
漏電した場合、発火するおそれがあります



アースを  
取り付ける

- アースを確実に取り付けること  
故障や漏電のときに感電するおそれがあります  
アースの取り付けは施工管理会社にご相談ください



取付注意

- 製品とダクトは、可燃物との間を 10cm 以上離すが、不燃材料を使用して可燃物を覆うこと  
火災などの原因になります  
詳しくは所轄の消防署にお問い合わせください



取付注意

- 排気工事をされる場合は、建築基準法（同施行令）および消防法などの関連法規に従って法的有資格者が工事をおこなうこと  
火災などの原因になります

# 安全上のご注意

## 警告



取付注意

- 配線工事は電気設備技術基準や内線規程に従って法的有資格者が工事をおこなうこと

誤った配線工事は感電や火災の原因になります



取付注意

- メタルラス張り、ワイヤラス張り、または金属板張りの木造の造営物に金属製ダクトが貫通する場合、金属製ダクトとメタルラス、ワイヤラス、金属板とが電氣的に接触しないよう取り付けること

漏電した場合、発火したり感電するおそれがあります



取付注意

- 自然排気型のストーブを使用するときは、空気の取入口（給気口）により十分給気される配慮をすること

排気ガスが室内に逆流し、一酸化炭素中毒を起こすおそれがあります



取付注意

- クッキングオイルコレクターは、薄板の金属部（壁内ラス網など）と接触しないよう取り付けること

漏電した場合、発火するおそれがあります

## 注意



使用禁止

- 浴室など湿気の多い場所では絶対に使わないこと  
(浴室用換気扇をお使いください。)

感電および故障の原因になります



取付禁止

- 周囲温度が40℃以上になるところには取り付けないこと

火災・故障の原因になります



禁止

- 製品の上に乗ったり、重いものを載せないこと

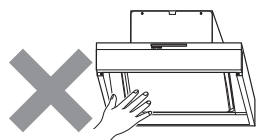
製品の変形や落下によるけがなどの原因になります



接触禁止

- 運転中は指や物を絶対に入れないこと

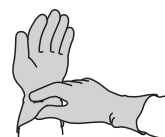
けがをするおそれがあります



手袋をする

- 取り扱いの際は、必ず厚手の手袋をすること

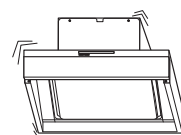
鋼板の切り口や角でけがをするおそれがあります



取付注意

- クッキングオイルコレクターの取り付けは、十分強度のあるところを選んで確実におこなうこと

落下によりけがをするおそれがあります



取付注意

- 部品の取り付けは確実におこなうこと

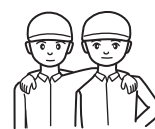
落下によりけがをするおそれがあります



取付注意

- 作業は2人以上でおこなうこと

クッキングオイルコレクターは約29kgの重さがあります



# 取り付け上のお願い

- 下記は「建設工事」に区分され、関連する法令、規定に従って法的有資格者がおこなう必要があります。

- **大工工事**

- 【設置のための下地工事等】

- **配線工事**

- 【コンセントの設置、コンセント・コネクター利用以外の配線接続等】

- **管工事**

- 【ダクト配管およびクッキングオイルコレクターからのダクト接続等】

流通業者（施工管理会社）を通して組立・設置する場合は、「建設工事」とそれ以外の「組立・設置」を区別しておこなってください。

- **ダクトの不燃処理について**

- ダクトを 50mm 以上の不燃材料、または 20mm 以上の国土交通大臣不燃認定品の不燃材料で被覆してください。
- 施工要領は、各メーカーの「標準施工要領技術指導書」・「検査要領書」に従ってください。

- **電気調理機器の幅はクッキングオイルコレクターの幅以内のものをご使用ください。**

電気調理機器はクッキングオイルコレクターの前面より手前にはみ出して設置しないでください。捕集性能が低下します。

- **屋外壁面の排気出口に取り付けるベントキャップまたはパイプフードの通気抵抗は 400m<sup>3</sup>/h 時 50Pa 以下のものをご使用ください。**

防虫網付きのものは目詰まりして排気性能が低下する場合がありますので使用しないでください。

- **非常に長いダクトや細いダクト、あるいは極端に屈曲したダクトは排気効果をいちじるしく低下させたり、騒音が大きくなりますので使用しないでください。**

- **本体やダクトなどが他の電気製品と接触しないように取り付けてください。**

- **製品は調理機器の真上に取り付けてください。**

- **クッキングオイルコレクター取付面の補強部に、取付用座付ねじが確実に届くことを確認してください。**

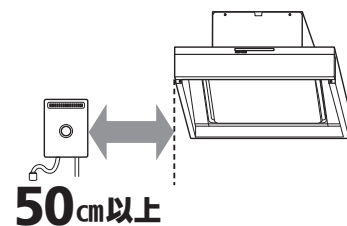
本体の取付用座付ねじは 45mm の長さのものが同梱されておりますが、壁下地に石膏ボード等が貼られている場合は、石膏ボード等の厚さを確認し、取付用座付ねじが確実に補強部に届くことを確認してください。

また、クッキングオイルコレクター本体取付面には必ず不燃材を使用してください。

- **クッキングオイルコレクターはパネルセットとあわせてご使用ください。**

パネルセットを使用しないと、捕集性能が低下します。

- **クッキングオイルコレクター下部には、湯沸器を絶対に取り付けしないでください。また、横方向 50cm 以上離して取り付けてください。湯沸器の真上は高熱になるため故障の原因になります。**



- **製品仕様を改造してのご使用は絶対におやめください。**

- **建物が密閉されている場合は必ず、適切な空気取入口を設けてください。**

- **寒い地域ではダクトが結露し本体内に結露水が流れる場合がありますので断熱材を巻くなどの対応をしてください。**

- **ダクトは必ず屋外側に向けて下り勾配を設けてください（目安：勾配 1/100 ~ 1/50 程度）。**  
雨水の浸入や結露水の逆流の原因になります。

- **汚れを除去する際は、シンナー等の有機溶剤を使用しないでください。**  
塗装面が変色したり、はがれたりすることがあります。

# 取り付け前の調査と準備

## 警告



分解・修理・  
改造禁止

- 修理技術者以外の人は、絶対に分解したり修理・改造をしないこと

発火・感電したり、異常動作してけがをするおそれがあります



埋込禁止

- クッキングオイルコレクターの壁への埋め込みはしないこと

漏電した場合、発火するおそれがあります



取付注意

- 製品とダクトは、可燃物との間を10cm以上離すが、不燃材料を使用して可燃物を覆うこと

火災などの原因になります  
詳しくは所轄の消防署に問い合わせてください



取付注意

- 排気工事をされる場合は、建築基準法（同施行令）および消防法などの関連法規に従って法的有資格者が工事をおこなうこと

火災などの原因になります



取付注意

- クッキングオイルコレクターは、薄板の金属部（壁内ラス網など）と接触しないよう取り付け

漏電した場合、発火するおそれがあります



取付注意

- 電源は専用コンセントおよびブレーカーを設けること

火災・故障の原因になります

## 注意



取付禁止

- 周囲温度が40℃以上になるところには取り付けないこと

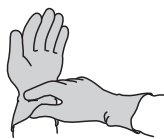
火災・故障の原因になります



手袋をする

- 取り扱いの際は、必ず厚手の手袋をすること

鋼板の切り口や角でけがをするおそれがあります



取付注意

- 作業は2人以上でおこなうこと

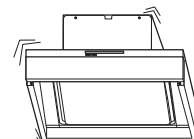
クッキングオイルコレクターは約29kgの重さがあります



取付注意

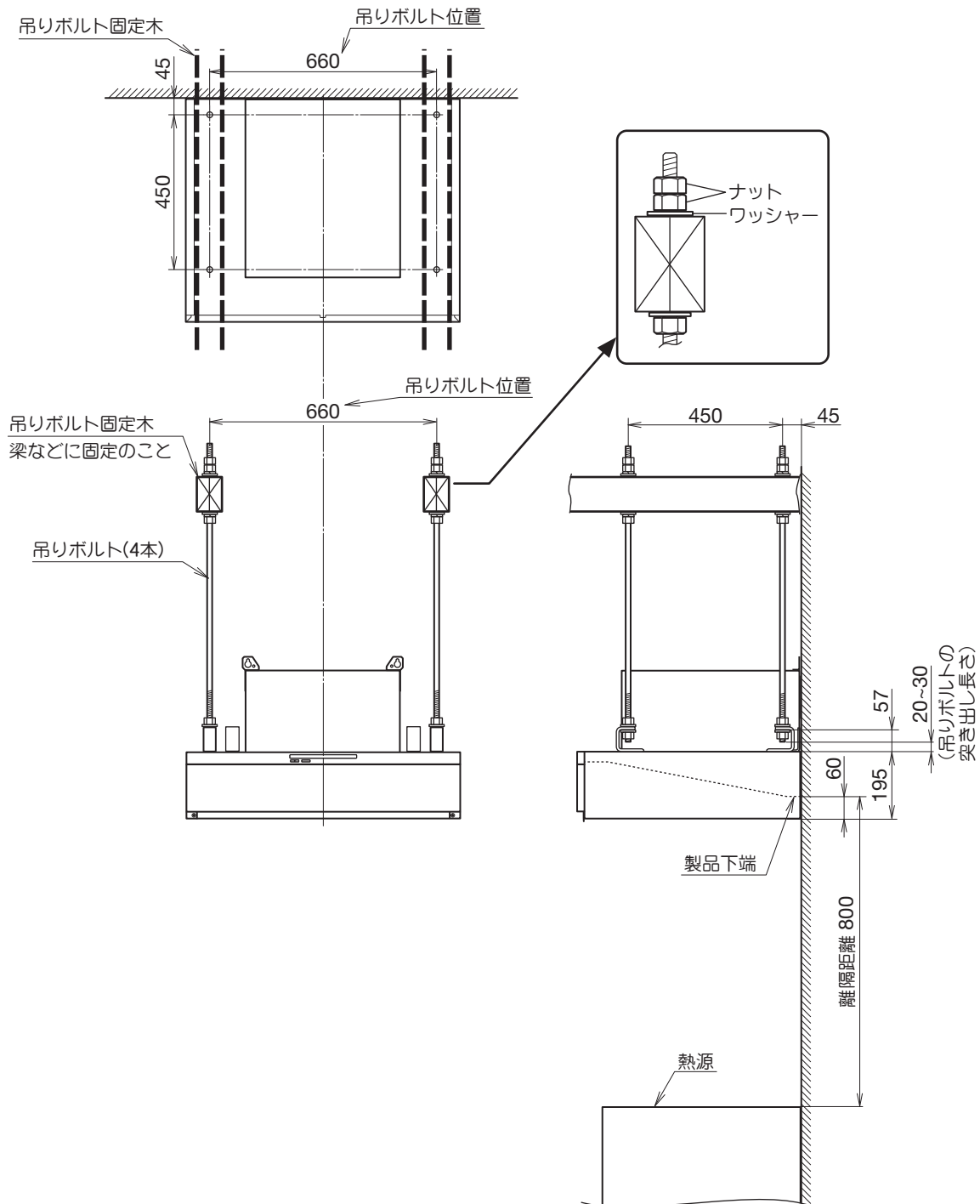
- クッキングオイルコレクターの取り付けは十分強度のあるところを選んで確実におこなうこと

落下により、けがをするおそれがあります



# 取り付け前の調査と準備

## ■ 取付要領図 (単位: mm)



本製品は、壁面への固定または吊りボルトへ固定する取り付けができます。  
設置場所の条件を確認し、指示に従って取り付けをおこなってください。

# 取り付け前の調査と準備

## 1 取付部の強度確認

製品を支える強さが必要です。

製品質量	29.0kg
幕板セット質量	5.0kg
パネルセット質量	6.0kg

### ■ 板張りの場合（取付面は必ず不燃処理をおこなってください）

- 板厚が 20mm 以下の場合には壁に補強板を埋め込み、補強板にクッキングオイルコレクターを取り付けてください。
- 板厚が 20mm 以上の場合は補強板の必要はありません。

### ■ コンクリート、タイル壁の場合

- あらかじめ補強板を壁に埋め込んでおくか、カーンプラグ等を使用し固定してください。

### ■ 土壁の場合

- 柱などに固定した補強板をあらかじめ壁に埋め込んでください。

## 2 吊りボルトの取り付け

取付要領図（前ページ）および製品寸法図（9 ページ）を参照し、吊りボルト位置に合わせて吊りボルト（取付作業側手配）を垂らしてください。

※ 吊りボルトは M10 ～ 12 を用いてください。

※ 吊りボルトは製品を支える十分な強さを確保してください。

必要となる強度は建物の条件、耐震クラスなどにより異なります。

## 3 標準取付寸法

本製品の標準取付寸法は、熱源から製品の下端まで 80cm 以上です。

### お願い

調理機器の組み合わせおよび地域の火災予防条例により、離隔距離等が異なる場合があります。その場合は条例に従ってください。

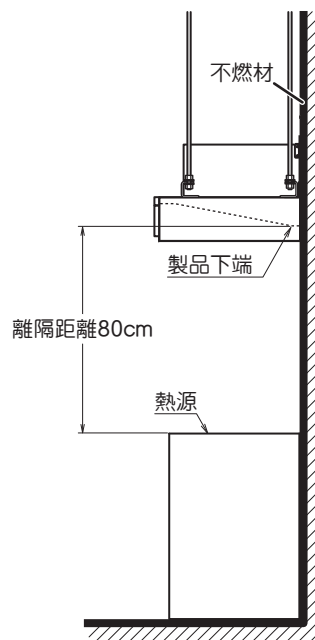
## 4 電源コンセント・ブレーカー

電源コンセント・ブレーカーは専用のものを設置してください。  
（交流・単相 100V）

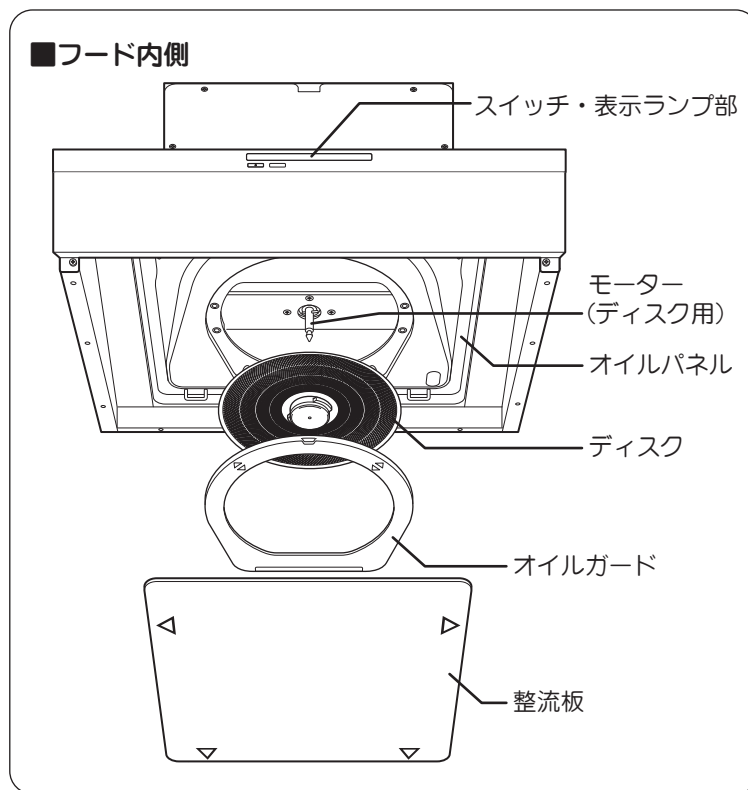
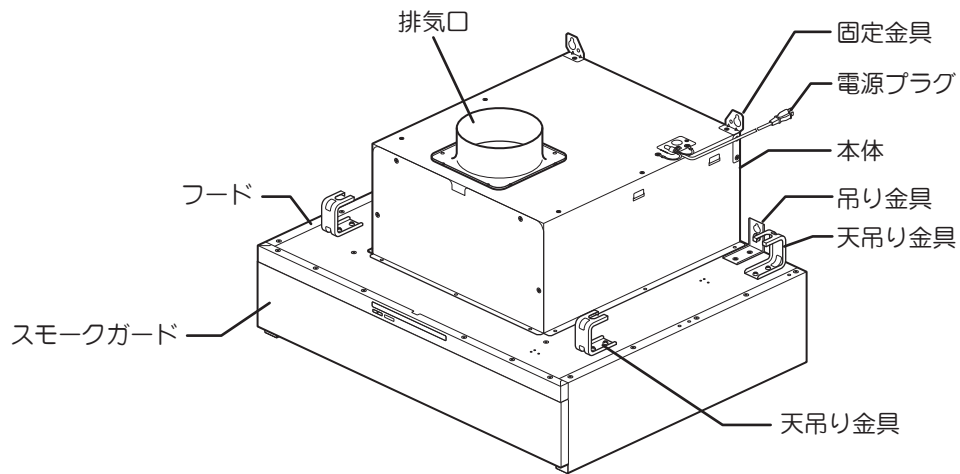
コンセントは、JIS C 8303 2 極接地極付差込接続器 15A 125V をご使用ください。

### お願い

必ずアース工事（D 種接地工事）をしてください。クッキングオイルコレクターが誤作動するおそれがあります。



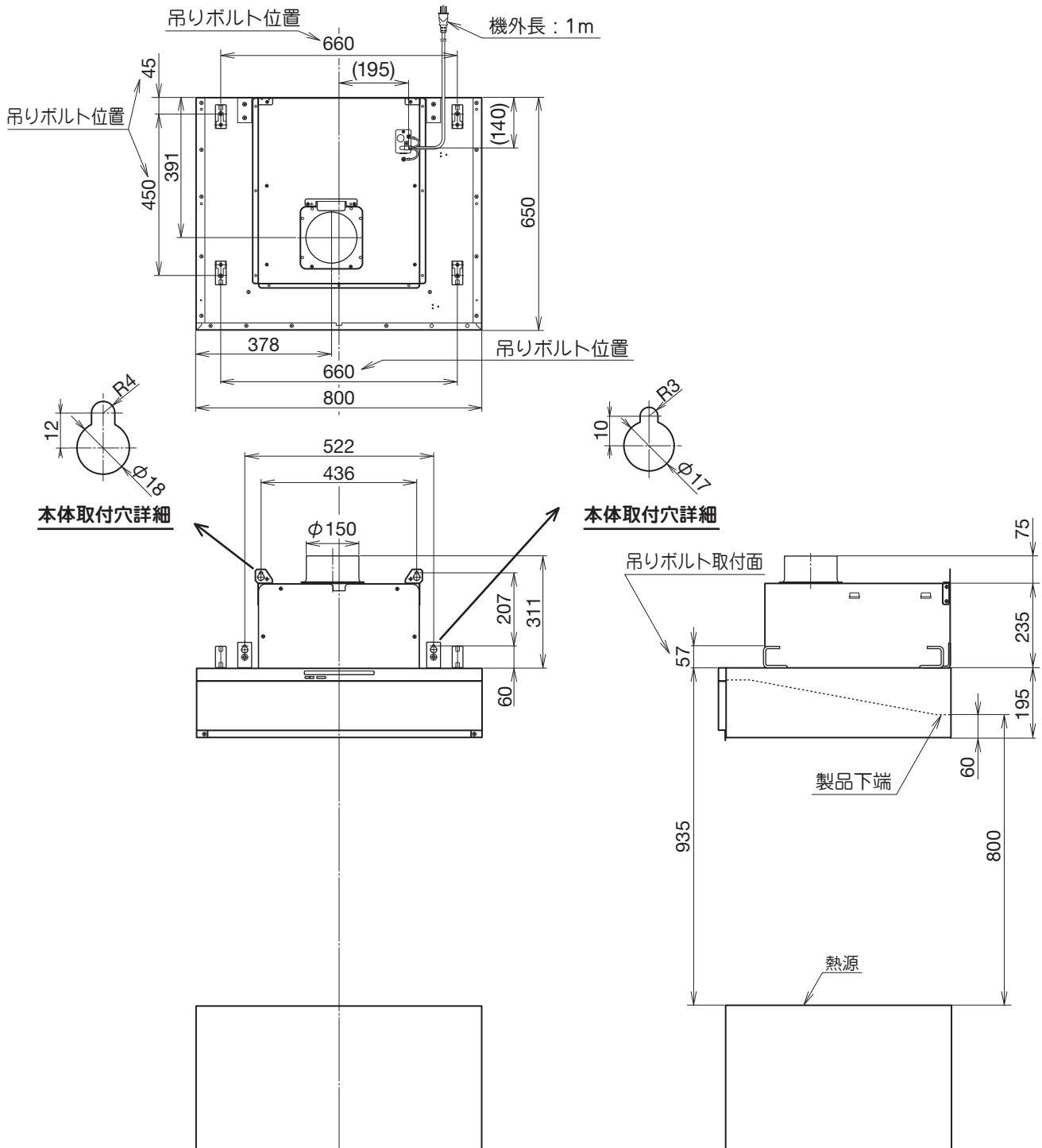
# 各部のなまえ





# 製品寸法図

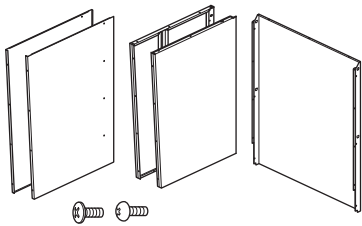
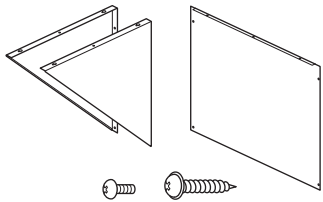
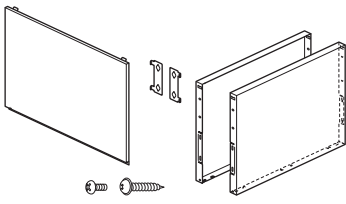
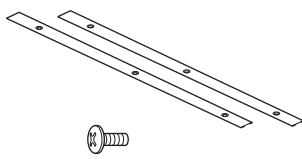
(単位：mm)



# 付属品・別売品

	トラスねじ (M4 × 12) (2本)	スモークガードの取り付けに使用します。
	座付ねじ (Φ 5.1 × 45) (4本)	本体の固定に使用します。
	排気口 (1個)	本体とダクトの接続に使用します。
	スモークガード (1個)	フードに取り付けて使用します。
	ソフトテープ (1本)	排気口とダクトとのすきまをふさぐのに使用します。

## ■ 別売品

	パネルセット：自立用 (COC-RKB-801)
	パネルセット：天吊り／壁付け用 (COC-SBP-801)
	幕板セット (COC-DK シリーズ)
	下面塞ぎ板 (COC-KFP-650)

# 取り付けかた

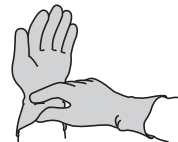
## 1. 付属品の確認

### 注意



手袋をする

- 取り扱いの際は、必ず厚手の手袋をすること  
鋼板の切り口や角でけがをするおそれがあります



付属品を確認します。

梱包箱から付属品を取り出し、前ページの付属品一覧により不足がないか確認します。

### お願い

- ・ 取付作業の際はキズ・破損のないように十分注意してください。
- ・ 保護用のクッション材と固定テープは「7. 取扱説明書およびオイルガード固定テープの取りはずし」(17ページ)まではずさないでください。
- ・ 床で作業する場合、本体および床にキズを付けないため、必ずシートを敷いた上で作業をおこなってください。

## 2. 別売品の確認

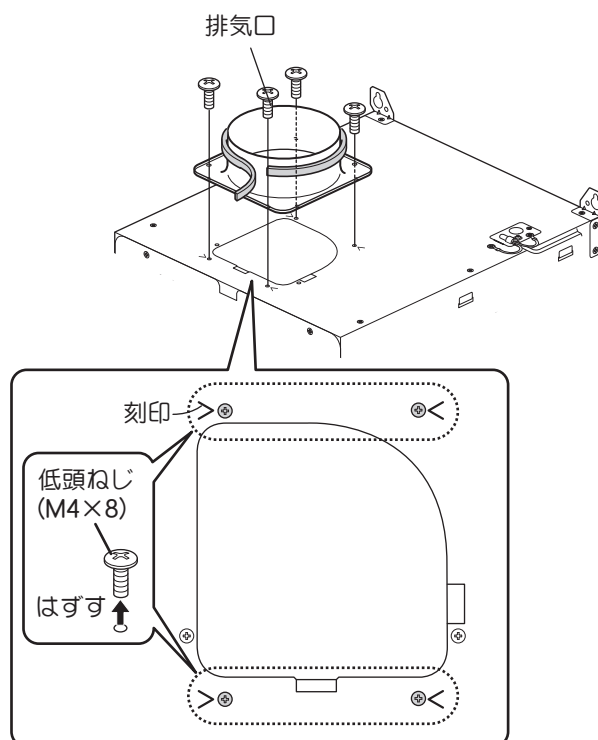
使用する幕板セット・パネルセットを確認し、取付説明書とあわせて取り付けてください。

## 3. 排気用部品の準備

排気口を取り付けます。

※「1. 付属品の確認」の項で取り出した排気口を用意してください。

- 1) 排気口に付属のソフトテープを貼り付けます。
- 2) 本体上面の刻印 (>) のある箇所に取り付けられている低頭ねじ 4 本をはずした後、はずした低頭ねじ 4 本で付属の排気口を取り付けます。



# 取り付けかた

## 4. フードの取り付け

### ⚠ 注意



取付注意

- 部品の取り付けは確実に  
おこなうこと

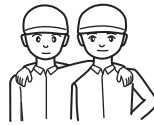
落下により、けがをする  
おそれがあります



取付注意

- 作業は2人以上でおこなう  
こと

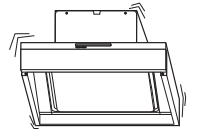
クッキングオイルコレク  
ターは約 29kg の重さがあ  
ります



取付注意

- クッキングオイ  
ルコレクターの  
取り付けは十分  
強度のあるとこ  
ろを選んで確実  
におこなうこと

落下により、け  
がをするおそれ  
があります



### お願い

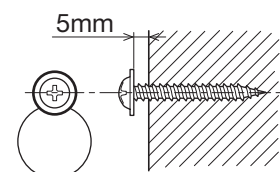
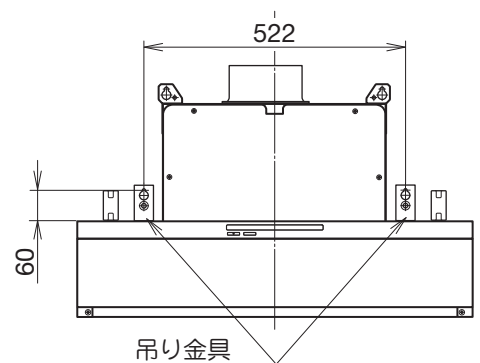
- ・クッキングオイルコレクターの前後および左右方向の水平を確実に出してください。水平に設置されていないと、本体内部の汚れ（油）が各部のすきまから調理面に滴下することがあります。
- ・キッチンパネルの上端部をクッキングオイルコレクター下部壁面に入れ込んで設置する場合、クッキングオイルコレクターと壁面のすきまに挟み込む部材は不燃性のものを使用してください。可燃物を使用した場合、火災の原因になるおそれがあります。

### ■ 壁面で固定する場合

(単位: mm)

#### 1 座付きネジを取り付けます。

吊り金具のたるま穴位置（左右各1ヶ所）に、付属の座付ねじ（ $\phi 5.1 \times 45$ ）2本を壁面とのすきま5mmまで締め付けます。



# 取り付けかた

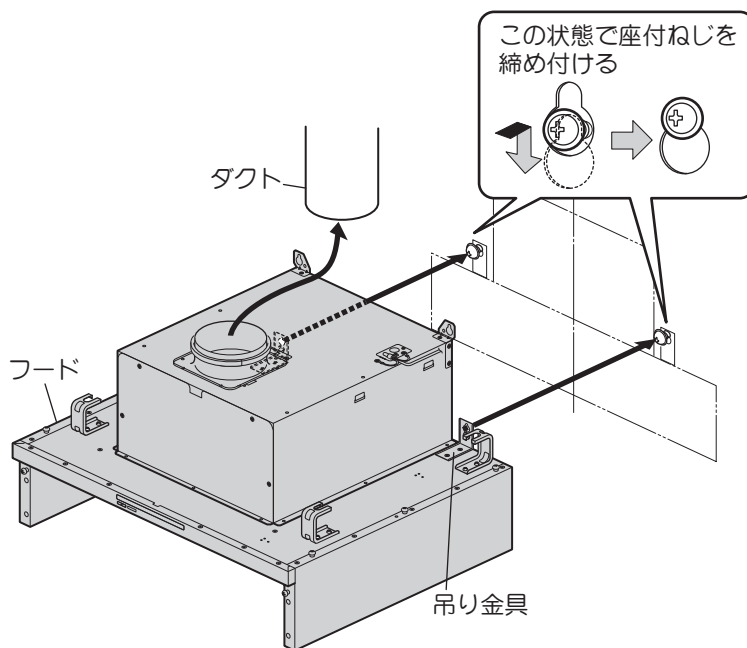
## 2 フードを引っ掛け固定します。

- 1) フードを持ち上げ、吊り金具の  
だるま穴を座付ねじに引っ掛け  
ます。

### お願い

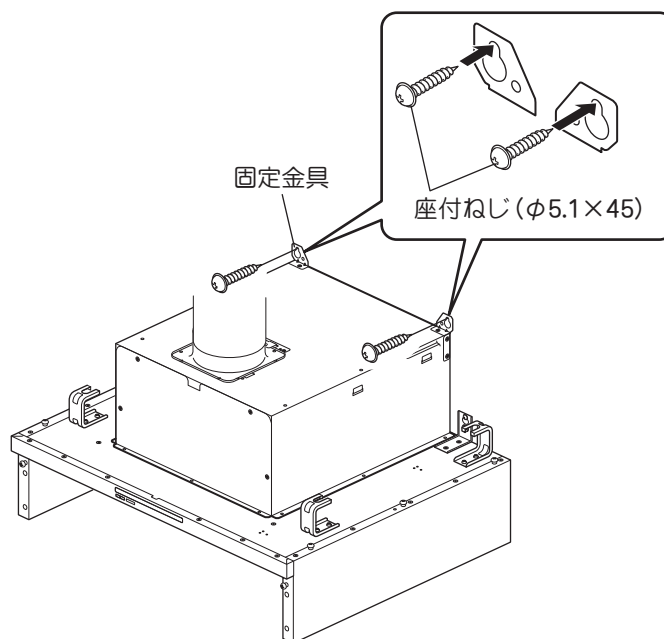
上方排気の場合はダクトに排気口を  
差し込みながら本体を取り付けてく  
ださい。

- 2) 座付ねじ (φ 5.1 × 45) 2 本  
をしっかりと締め付けます。



## 3 本体上部を固定します。

固定金具のだるま穴 (左右各 1ヶ  
所) に、付属の座付ねじ (φ 5.1  
× 45) 2 本をしっかりと締め付け  
ます。

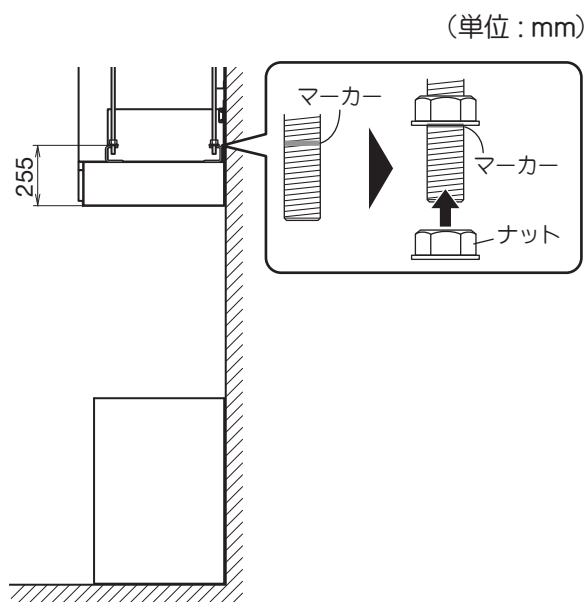


# 取り付けかた

## ■ 吊りボルトで固定する場合

### 1 吊りボルトにフランジ付き六角ナットを取り付けます。

- 1) 吊りボルト 4 本にフード部下端から 255mm の位置にマーカースを付けます。
- 2) フランジ付き六角ナット（取付作業側手配）を吊りボルト 4 本のマーカ位置までねじ込みます。



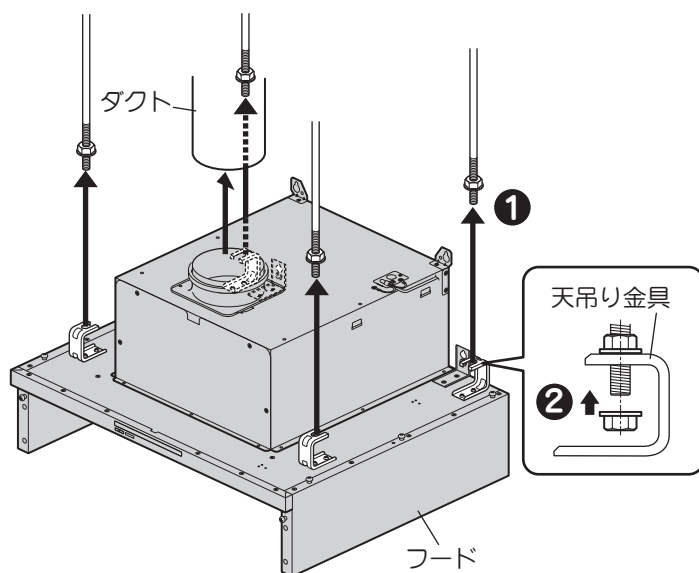
### 2 フードを吊りボルトに固定します。

- 1) フードを持ち上げ、天吊り金具に吊りボルトを差し込みます。

#### お願い

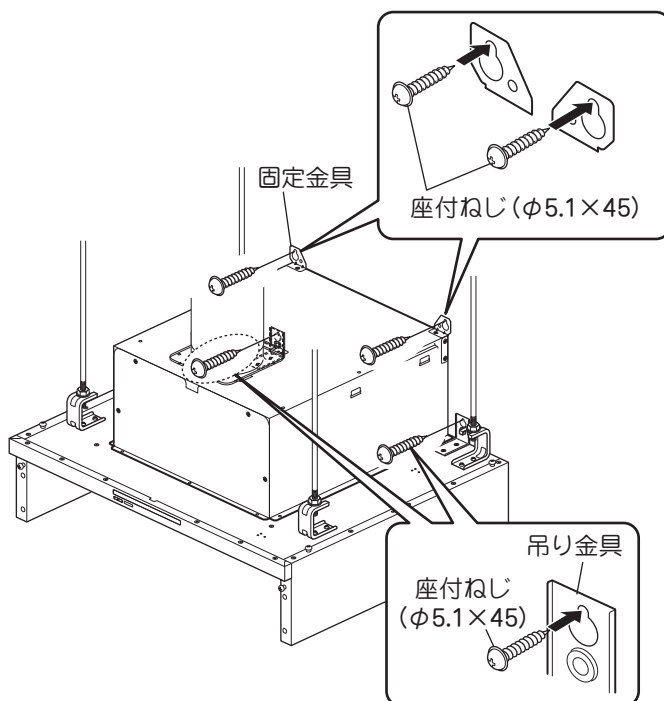
上方排気の場合はダクトに排気口を差し込みながら本体を取り付けてください。

- 2) フランジ付き六角ナット（取付作業側手配）でしっかりと締め付けます。



### 3 フードを壁面に固定します。

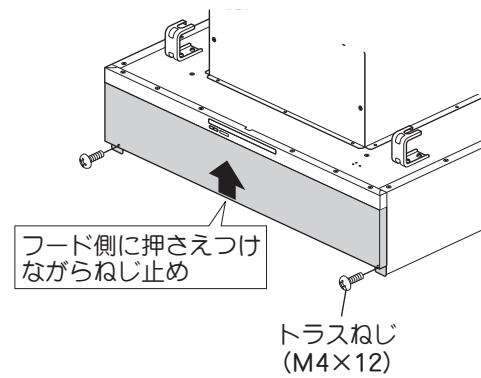
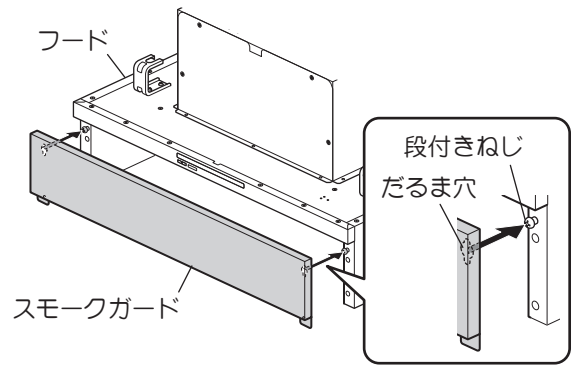
固定金具と吊り金具のたるま穴（左右各 1ヶ所）に、付属の座付ねじ（ $\phi 5.1 \times 45$ ） 4 本をしっかりと締め付けます。



# 取り付けかた

## 4 スモークガードを取り付けます。

- 1) スモークガードの保護フィルムをはがします。
- 2) フード前面の段付きねじ 2 本にスモークガードの  
のたるま穴を引っ掛けます。
- 3) スモークガードをフード側に押さえつけながら  
上方に持ち上げ、付属のトラスねじ (M4 × 12)  
2 本で取り付けます。

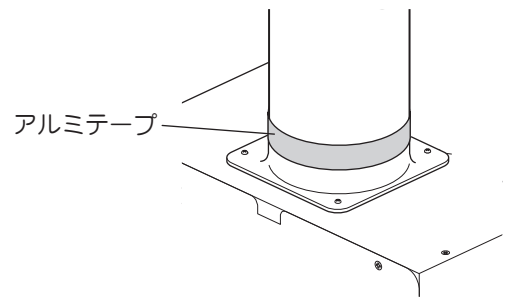


# 取り付けかた

## 5. 排気ダクトとの接続

排気ダクトを接続します。

排気ダクト（現場調達品）の配管が終わったら排気口と接続し、接合部に風漏れ防止のテーピング（アルミテープ）をおこなってください。

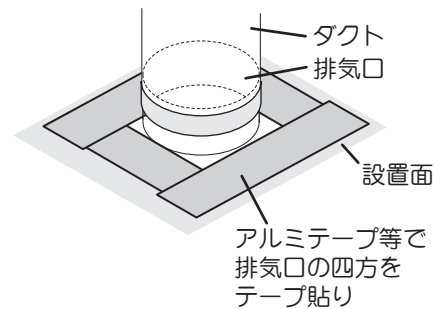


### ■ 排気口設置面の漏風確認のお願い

排気口とダクトを接続する際に、無理にダクトにクッキングオイルコレクターの排気口を接続しようとすると、排気口と排気口の設置面が変形し、風漏れが発生してしまう場合があります。

排気漏れ確認のために、ダクトと接続後は試運転（ターボ）をおこなってください。

漏風する場合は、排気口と設置面の周りをアルミテープ等（現場調達品）で漏風防止処置をおこなってください。





# 取り付けかた

## 6. 電気配線

### 警告



分解・修理・  
改造禁止

- 修理技術者以外の方は、絶対に分解したり修理・改造をしないこと

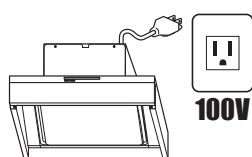
発火・感電したり、異常動作してけがをする  
おそれがあります



使用禁止

- 交流 100 V 以外では使用しないこと

火災・感電の原因  
になります



取付注意

- 配線工事は電気設備技術基準や内線規程に従って法的有資格者が工事をおこなうこと

誤った配線工事は感電や火災の原因  
になります



アースを  
取り付ける

- アースを確実に取り付けること  
誤作動の原因になります

また、故障や漏電のときに感電する  
おそれがあります  
アースの取り付けは施工管理会社にご相談ください

分電盤のブレーカーを「切」にし、電源プラグをコンセントに差し込みます。

#### お願い

- 電源は専用のコンセント（2極接地極付差込接続器 15A、125V）およびブレーカーを設けてください。
- 「8. 試運転」（次ページ）までブレーカーは「入」にしないでください。
- コンセントは電源コードの長さ（機外長約 1m）を考慮し、設置してください。


## 7. 取扱説明書およびオイルガード 固定テープの取りはずし

- 保護用クッション材をいったん取りはずし、整流板に貼り付けてある取扱説明書ははずします。
- 付属の取扱説明書を参照して整流板を取りはずし、オイルガードを固定しているテープをはがします。固定テープをはがした後は整流板をもとどおりに取り付けてください。

# 取り付けかた


## 8. 試運転

### ⚠ 注意



接触禁止

● 運転中は指や物を絶対に入れないこと  
けがをするおそれがあります



- 分電盤のブレーカーを「入」にし、スイッチを操作して運転状態を確認してください。  
スイッチの操作と運転状態については取扱説明書をご覧ください。
- 必ず最終設置した状態で試運転してください。
- 整流板が正しく取り付けしていないと運転ができません。  
整流板の取り付けについては取扱説明書をご覧ください。
- 運転時、排気が正しくおこなわれていることを確認してください。
- 異常な騒音、振動がないことを確認してください。
- 屋外の排気出口から排気され、異常音がないことを確認してください。
- 取り付けまたは各種工事にて発生した不具合で修理を依頼されますと全て有料となりますので  
十分確認してください。

# 取り付けかた

## 9. 店舗管理者様への説明

- 取扱説明書によって機器の取り扱いを説明してください。
- 取扱説明書と共に、この取付説明書を必ず店舗管理者様にお渡しください。  
お読みになった後はいつも手元において大切に保管し、必要なときにお読みください。
- 本機器を移設または譲渡するときは、必ず本書を添付してください。  
本書を読まずに操作や整備をおこなうと、けがや事故の原因になります。  
なお、設計上の標準使用期間を超えて使用することは、経年劣化による重大事故の発生に至るおそれがありますので、設計上の標準使用期間を超えた製品の譲渡等はおやめください。
- 本機器は国内専用です。  
本機器は国内専用で設計されています。海外では使用できません。
- 当社の許可なく本書を複製することを禁じます。

### 警告

使用者、管理者が変わった場合には必ず取扱説明書を読ませ、指導をおこなってください。  
取扱説明書を読まずに操作やお手入れなどをおこなうと、けがや事故の原因になります。

